

平成 17 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社ニチロ
代表者名 取締役社長 田中 龍彦
本社所在地 東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1
コード番号 1 3 3 1
問合せ先 総合企画部広報室長 朝倉 国満
(TEL 03-3240-6208)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 27 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）
（中間期 個別） (単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	86,000	1,300	1,000
今 回 修 正 予 想 (B)	85,000	1,300	600
増 減 額 (B-A)	△1,000	—	△400
増 減 率 (%)	△1.2	—	△40.0
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	84,397	1,459	△350

2. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）
（中間期 連結） (単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	122,000	2,600	1,300
今 回 修 正 予 想 (B)	124,000	2,100	1,700
増 減 額 (B-A)	2,000	△500	400
増 減 率 (%)	1.6	△19.2	30.8
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	121,003	2,422	6

3. 平成18年3月期通期業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）
 （通期 個別） (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	176,000	3,000	1,700
今回修正予想(B)	173,000	3,000	1,500
増減額(B-A)	△3,000	—	△200
増減率(%)	△1.7	—	△11.8
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	169,110	2,654	△3,624

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円34銭

4. 平成18年3月期連結業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）
 （通期 連結） (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	254,000	6,500	3,000
今回修正予想(B)	256,000	5,600	3,400
増減額(B-A)	2,000	△900	400
増減率(%)	0.8	△13.8	13.3
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	246,933	5,087	△7,186

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円69銭

5. 修正の理由

(個別)

水産品事業においては、荷動き、市況ともに堅調な動きにより増収となりましたが、OEM生産による飲料事業において厳しい経営環境が続いたことなどにより、中間および通期の売上高は前回予想を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、中間および通期ともに前回予想通りとなる見込みであります。遊休設備の除却処理（特別損失として約250百万円を計上）をする結果、中間純利益および当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

(連結)

国内の飲料事業を営む連結子会社において減収となりましたが、国内冷食子会社や北米子会社などが堅調に推移したことにより、中間および通期の売上高は前回予想並みとなる見込みであります。

利益につきましては、飲料事業を営む連結子会社や畜肉を原料とする連結子会社の業績が低迷した

こと、並びに、下期においても原料高騰や原油高による包材価格の上昇など、厳しい経営環境が予想されることから中間および通期の経常利益は前回予想を下回る見込みであります。

中間純利益および当期純利益につきましては、一部の国内子会社における税効果会計の適用や遊休不動産の売却益などにより、前回予想を上回る見込みであります。

以 上